

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
司 会 会 長 事務局	開会、部長挨拶、委員紹介、事務局紹介、資料確認 会長挨拶 会議成立の報告
会 長	それでは、本日の次第に沿って進めて参ります。議題1「令和元年度決算見込及び事業報告」について、事務局より説明願います。
事務局	議題1「令和元年度決算見込及び事業報告について」を説明
会 長	ありがとうございました。何か質問はございませんか。
委 員	資料1の歳入の保険料の滞納繰越ですが、過去の資料を見ますと、平成29年度が10,009,000円、平成30年度が10,827,000円と微増しています。この内訳を説明していただきたい。また、それに対する督促の方法、不納欠損をどうされているのか、ご教示願いたい。 それともう一つ、事業実績報告の「(3) サービス利用者数」について、利用者数に上下しています。介護予防サービスについては、総合事業が始まったということで、減ってまた増えるというのはわかるのですが、他のサービスについても上下していますので、その辺を簡単にご説明いただきたいと思います。
事務局	令和元年度の11,003,000円の滞納繰越の内訳ですが、平成30年度分で、5,600,000円、平成29年度分で、4,039,000円、平成28年度以前分で1,364,000円、それぞれ徴収した金額を記載しています。 滞納への対応ですが、一定の期限を到来してから20日程度経過後、まず督促状を送付し、その後、催告書を送付しています。その後も未納が続きますと、高額滞納者などは、滞納債権整理回収課に債権の引継ぎをし、差し押さえの処分等を行っています。 次に、不納欠損ですが、令和元年度は518件、15,369,450円を債権回収が難しいということで、不納欠損処分しています。 次に、事業実績報告のサービス利用者数の伸びに上下があるというところですが、まず、居宅介護サービスは伸びているという状況で、居宅介護サービスの計画給付費であるとか、福祉用具貸与、通所介護、訪問介護、訪問看護の利用者が増加しています。介護予防サービスで平成30年度から令和元年度にかけて増加していますが、こちらも予防サービスの計画給付費であるとか、介護予防福祉用具貸与、介護予防通所リハビリテーションの利用者数が増加しています。 次に、地域密着型介護サービスで、平成30年度の実績が平成29年度より増加

	<p>していますが、これは平成30年5月に定員29人の地域密着型特別養護老人ホームサニーヴィラが開設されたことが、要因の一つであると考えています。同じく、地域密着型の介護サービスで令和元年度の実績を平成30年度から比べると減少しています。これは地域密着型通所介護の事業所が令和元年4月から広域型の通所介護に転換されたことが主な要因と考えられます。</p> <p>最後に、施設サービスのほうで増減があります。これは、広域型の施設では他市町村の住民が介護施設に直接入所された場合に、施設が所在する保険者（自治体）の負担が増えないように、前の市町村が保険者となる住所地特例制度というものがあります。この住所地特例者の増減が影響しているのではないかと考えています。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。その他、ご質問ご意見等ございますか。無いようでしたら次の案件に移ります。議題2「(第7期) 高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の進捗」について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題2「(第7期) 高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の進捗について」を説明</p>
会 長	<p>ありがとうございました。それでは、各委員の皆様から、ご質問等ございましたら、お願いいたします。</p>
委 員	<p>「(1) 生涯を通じた健康づくり活動の推進」で、要介護認定を受けていない後期高齢者の割合の目標は、ずっと70%となっていますが、実績は68.6%から68.4%、67.6%となっています。数字がだんだん下がってくるほうが良い、喜ばしいと解釈していいのでしょうか。</p> <p>それと「(2) 介護予防の推進」で、おたがいさまサポーターの登録者数が、平成30年度の131人から令和元年度の237人に増えたということは、各地域包括支援センターの方がいろいろ努力していただいて増えたということですが、新しいメニューが入ってきたという環境もあって、こんなに大幅に増えたのでしょうか。</p>
事務局	<p>「(1) 生涯を通じた健康づくり活動の推進」の要介護認定を受けていない後期高齢者の割合は、パーセンテージが高いほうが喜ばしいことになり、下がっているというのはよろしくないということになります。元気な高齢者が多ければ、要介護認定を受けていないということになり、割合は高くなります。</p> <p>「(2) 介護予防の推進」のおたがいさまサポーターの登録者数は、ご指摘の通り、新しいサービスメニューが増え、これならできるというサポーターも増え、かつ、地域包括支援センターの生活支援コーディネーターの頑張りもありまして、大幅に増えています。</p>

会 長	<p>「要介護認定を受けていない後期高齢者」の、「受けていない」という表現が、何か人間の意思が感じられます。受けられるけど受けてないという人間の意思が働いていると感じられるので、少なかったり、多かったりすることに何か意味があるのではないかと感じてしまう。人間の意思が介在しているのではなくて、受けているか、受けていないかの問題だということが分かるような表現にしたほうがよいのでは。何かご意見はありますか。</p>
委 員	<p>数字で目標達成、未達成というのは分かるのですが、この結果をもって、これはこういうことで良かったとか、こういうところがまだ十分浸透していないとか、各項目でももう少し実態が分かるような工夫をしていただけたらありがたい。</p>
会 長	<p>要望をいただきました。今後、事務局のほうで検討していただければと思います。その他、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
委 員	<p>資料の「(2) 介護予防の推進」について、おたがいさまサポーター登録者数が増えているというのは、担当者の方々のご努力だと思います。目標を上回って、感謝申し上げます。また、いきいきいずみ体操は、フレイル予防が盛んに報道されており、コロナの大変な時期ですが、目標より実績が低いので、もう少し頑張っていたいて、増やす努力をよろしくお願ひしたい。</p> <p>それと、おたがいさまサポーターの登録者数も増えてきて、市のほうも頑張っていたいていいのですが、これは老人クラブも絡んでいる中で、鶴山台の自治会でしているお助け隊に似たようなものを7月1日からやりだしたのです。そういうものが各地域に増えていってくれたらいいと思います。こういうものが各地域に増えていけば、このおたがいさまサポーターを少なくできるのかと感じます。私達も努力しますが、高齢介護室のほうも努力、よろしくお願ひします。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。その他、ご意見等ございますか。よろしいでしょうか。それでは、議題3に進めさせていただきたいとます。議題3「令和2年度予算及び事業計画」について、事務局より説明願ひます。</p>
事務局	<p>議題3「令和2年度予算及び事業計画について」を説明</p>
会 長	<p>ありがとうございます。それでは、各委員の皆様より、ご意見等ございましたら、お願ひいたします。</p>
委 員	<p>資料3の2枚目の「③サービス利用者数の計画数」について、令和元年度の見込みを見ていると、若干、ずれているのではないかと。ご説明をお願ひします。</p>

事務局	委員のご指摘のずれというのは、資料1の「(3) サービス利用者数」の実績とのずれのことかと思いますが、こちら資料3の令和2年度の計画は、今回、新たに策定したものではありませんで、第7期の介護保険計画における令和2年度の計画数値を掲載しているところになっております。これは平成30年度から令和2年度までの3年間のサービス見込み量等の推計を平成29年度に算定した数字が今回の計画として載っておりますので、令和元年度の実績数とはずれがでできます。
会長	ありがとうございました。その他、ご意見、ご質問等ござますでしょうか。よろしいですか。それでは、議題4に進めさせていただきたいとます。議題4「令和元年度各種相談実績報告」について、事務局より説明願います。
事務局	議題4「和元年度各種相談実績報告について」を説明
会長	ありがとうございました。それでは、各委員の皆様より、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。特にございませんでしょうか。では、次に進めさせていただきます。議題5「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に係るアンケート調査の結果」について、株式会社関西計画技術研究所より説明願います。
事務局	議題5「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に係るアンケート調査の結果について」を説明
会長	ありがとうございました。各委員の皆様から、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。
委員	これは大阪府下全域の調査ですか。
事務局	調査項目につきましては、国が勧めているアンケート調査はあるのですが、今日、ご報告させていただいた部分は、ほとんど和泉市のオリジナルの項目になります。
委員	確認ですが、1ページに「2. 調査の対象」で、サービス提供事業所調査が170法人とあります。これは和泉市内で、居宅介護サービス事業者も、サービス付き高齢者向け住宅も、すべて合わせて170事業所があるということですか。
事務局	サービス付き高齢者向け住宅などを運営されている法人は、今回入っていません。指定サービスの事業所の法人ということで、170法人です。
委員	ということは、サービス付き高齢者向け住宅の実際のケアワーカーの方々の意見は、ここには反映されていないと理解していいのですか。

事務局	はい。入っていません。
委員	4ページの「④家族構成」で、ひとり暮らしがどんどん増えているのが分かります。ご夫婦の場合と、家族がいる場合と、ひとり暮らしの場合と、求められるものが変わってきます。だから、高齢者のひとり暮らし、そういう人たちに対するサービスがこれからは必要なのかと感じます。
事務局	独居の方が確かに増えているので、その方のニーズに合ったサービス提供を考えていかなければならないと思っています。
委員	17ページのところで、「③人生の最期を過ごしたい場所」を見ると、「最期まで自分の自宅で暮らしたい」がやっぱり増えてきました。病院よりは、家がいいということなのですが、次のページの「⑤在宅生活の継続に必要な支援」は、第1位は圧倒的に「家族の協力」です。家族の協力が一番欲しい、しかし、家族はいない。そうすると、サービスの仕方が変わってくると思います。
会長	ありがとうございました。その他、いかがでしょうか。
委員	4ページの「④家族構成」の「ひとり暮らし」が非常に増えているのですが、細かい年代、男女別、地域も分かりますか。和泉市は南北に長いので山のほうなのか、街のほうなのかとか。夜中に何かあっても、近くに病院があるとか。この人たちにどういったサポートが求められているのかとか、そういうことを教えていただきたいと思います。
事務局	この男女別、年齢別、地域別は、情報としてありますので、今後、分析していけたらと思っています。
会長	今後、示していただくということで、お願いします。
委員	先ほど、23ページの人材確保の状況について「⑥確保できていない理由」のところで、「募集しても採用したい人材がない」、「募集しても応募がない」とあります。以前、新聞の記事で、求人広告に応募ゼロ、職員不足で入居をストップしなければならぬ事業所もあると見ました。そういうことで、介護職の賃金が本当に以前から横ばいか低迷している。また、他の業種に比べて、厳しい職種でありながら月に10万円近く低いとも言われます。根本的にもう少し賃金が上昇できないものかと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局	<p>処遇改善の加算の改定なども国のほうからあるのですが、一定、介護報酬が決まっているということがあります。やはり、事業所のほうで給与は決められているので、賃金上昇を市のほうで行うというのは難しいというのが状況です。</p>
委員	<p>22ページの「④事業を運営する上での課題」も、サービス提供事業者調査結果と書いてありますので調査されているのですよね。この中にはサービス付き高齢者向け住宅が入っていないのですね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>サービス付き高齢者向け住宅を入れると、先ほどの人材確保ができないという状況ももっとはっきりしていくと思います。恐らく、今一番、人が足りないのはサービス付き高齢者向け住宅や、居宅介護で在宅サービスを運営している事業所であり、施設のほうは結構ましではないかと。だから、サービス付き高齢者向け住宅を運営している事業者が入ったら、もっと顕著に出るのではないかと考えます。</p> <p>あと、サービスのところで、7ページの「⑥高齢者の外出を支える必要な支援」は、外出することでフレイル予防になる、介護予防につながるということからこの質問があると思うのですが、結果は1番目が「タクシー利用の補助」、2番目が「バス利用の補助」、また、デマンドタクシーのことも書いていますね。あと、食事のことですが、28ページの「⑥今後充実したほうがよいと思う介護保険外サービス」で、外出同行が66.3%、あと、移送サービス、それと配食。このような介護保険外サービスとして、和泉市はどのようなことをしていますか。</p>
事務局	<p>6月に高齢者のおでかけ支援として、タクシーとバスに一定の補助をする新しいサービスを始めました。</p>
委員	<p>そのサービスは、資料3で今回、特別会計予算の中の歳出の保険給付費のなかの「その他の給付費」に入っていますか。介護保険外だから、入っていませんか。</p>
事務局	<p>介護保険の財源とは別の一般会計の財源になりますので、入っていません。</p>
会長	<p>ありがとうございました。さまざまなご意見をいただきましたが、その他、ございますか。</p>
委員	<p>コロナの影響で非常に訪問看護、訪問介護が増えていると思います。次の時に仮に報告いただくとすれば、デイサービスなどの利用者が少なくなっていくのではないかと、その反面、看護者や訪問介護者をどのように確保しているのかをお伺いしたいと思います。</p>

事務局	<p>通所介護事業所などに問い合わせをしたときに、事業所判断で休業を行ったというところが3箇所ほど出ています。来ていただくことで感染があっては困るので、家族のおられる方は、家族で見てくださいという回答も出ています。自粛や新規の利用を控えるという形で、事業所にとっても感染予防対策を行っておられるところが出ていますので、やはり、利用者が影響を受けてきているとは思いますが。</p> <p>介護者の獲得も、休校で、休職もしくは心配で退職されたということも幾つかの事業所では聞いています。もともと人材が不足している中、コロナ禍において、事業所にとっては大変な時期であると、認識しているところです。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。さまざまなご意見等いただきまして、議論も深まったところかと思しますので、議題5につきましては、ここまでにさせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>では、その他、資料の全般に関わること、疑問に感じていること等、何かご意見はございませんか。よろしいでしょうか。本日は、限られた時間での質疑となっておりますので、事務局からの説明で不明な点、もう少し詳しく説明を聞きたい等ありましたら、事務局へ直接確認いただければと思います。</p> <p>それでは、本議事につきましては、これをもちまして終了とさせていただきます。次に、その他として、事務局、何かありましたら、お願いいたします。</p>
事務局	<p>今年度の介護開催予定の説明</p>
会 長	<p>タイトな日程ですが、ご予約を確保していただけますよう、ご協力をお願いいたします。本日の運営協議会の議事はすべて終了いたしました。委員の皆様、長時間、大変ありがとうございました。この後の進行は事務局にお願いします。</p>
司 会	<p>閉会</p>